

2026年度高校入試の概要が発表されました

茨城県教育委員会では、2025年度（令和8年度）茨城県立高等学校入学者選抜における特色選抜実施概要を一覧（予定）として公表した。一般入学学力検査は2026年度（2月26日）、特色選抜面接などは2月27日に実施する。8年度は茨城県立高校へ共通選抜を実施し、文化・芸術および体育などの分野において優れた資質・実績を有する者を対象とする特色選抜を学校裁量で実施した。

全校で実施する共通選抜は、学力検査と調査書などを用いて行い、A群・B群の2段階で合格者を決定する。学力検査は、国語・社会・数学・理科・英語（聞き取りテスト別枠）の5教科で実施。合計得点と調査書などを用いて原則

茨城県の教育委員会ウェブサイトに掲載された特色選抜実施概要一覧（予定）では、学校ごとの特色選抜の実施有無や、各学校の募集定員に占める特色選抜募集人員の割合など、出願要件、選抜資料と配点などを一覽にまとめている。また、入学者選抜リフレットでは、2026年度入試の概観に加え、要や変更点（出願がインターネット、英語の時間割変更、レバ振りの増加）選抜実施高

校のエリア別配置一覧をまとめたので、いづれも詳細は茨城県教育委員会サイトに掲載されている募集定員については1月に公表することが予定されています。

今回掲載した内容や各高校別の特色化選抜の出願条件は茨城県教育委員会のホームページから確認ができます。

茨城県教育委員会
高校入試



今年度の入試は、昨年度とほぼ同じ

合格となるA群を決定し、残りをB群として選抜を行う。

	北海道第二	北海道第一	下妻第一	竹園	伊奈	常総学院	つくば秀英
学年人数	240	240	240	320	240	547	330
国立大合格	3	87	125	225	6	109	19
茨城	0	29	30	33	2	39	5
筑波	0	6	3	56	0	13	3
宇都宮	0	0	21	7	0	2	1
群馬	0	1	4	4	0	1	1
埼玉	0	10	7	10	0	3	0
千葉	0	2	3	13	0	3	0
東京	0	0	1	7	0	1	0
横浜国立	0	0	0	2	0	2	0
東京学芸	0	1	3	2	0	2	1
私立大合格	81	702	516	837	222	954	
早慶上理	0	18	10	114	0	39	3
GMARCH	0	97	48	224	0	84	6
日東駒専	18	150	100	121	20	96	24

※早慶上理・・・早稲田・慶應・上智・東京理科 ※GMARCH・・・学習院・明治・青山学院・立教・中央・法政
※日東駒専・・・日本・東洋・駒澤・専修

令和7年度 各高校大学実績

参考：令和6年度の比較（前年）

	北海道第一高校	上野第一高校
1学年人数	240人	240人
R6受験者数	高次 1,338名	1,089名
R6合格者数	中次 4,738名	2,160名
R6公立大学合格	6,412名	6,682名
選抜大	国立 21名	24名
選抜大	国立 21名	24名
選抜大	国立 25名	19名
選抜大	国立 7名	12名
東京理科大学	国立 7名	18名
駒澤大	私立 22名	16名
法政大	私立 17名	19名
青山学院大	私立 10名	17名
中央大	私立 51名	37名
日本大	私立 83名	44名
東洋大	私立 11名	8名
専修大	私立 51名	18名
千葉大	私立 26名	37名
文京大	私立 26名	20名

水海道第一高校が飛躍。

大学進学実績の比較

授業日程10月予定.

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■ 休講日 ■ 振替実施日

※10月休講日に関して

10月授業休講は、13
(祝)の授業が休講とな
っておりますので、よろしく
お願い申し上げます。平日
教室開放時刻は15時から
となります。また、定期試
験対策は試験2週間前
から実施します。



台風接近時の授業について

台風接近時は、場合により塾が休講（振替）になるおそれがあります。

休講のときは、塾のHPでお知らせいたします。また、授業のあるかたは公式ラインまたはメールからご連絡をいたしますので、ご確認ください。

茨城県常総市
水海道宝町 3385 - 2
Tel*0297-20-1255

発行者 * 朝倉芳一

編集後記



令和7年度の進学実績が、各学校で発表された。生徒たちが進学する各学校の大学進学実績を紹介してみた。

まずは、国公立大学の進学数だが、全国でも屈指の実績を誇っているのが竹田高校、国公立合格者数は225名で卒業生に対する国公立大学合格の割合は、驚異の68.1%を誇る。次に多いのが下妻第一高校で125名と1000人を超えて割合は52%。私立の常総学院は109名と1000人を超えて、割合は約27%で水海道第一高校は87名の合格者数で36%の割合となっている。私立大学については、合格総数、早慶上理、MARCH、日東駒専それぞれ集計している。ここでも、総数・難関私立大を多くだしているのが、公立高校では竹田高校で、公立高校では、常総学院が難関大の割合も高い、また今年度の水海道第一高校は前年比国公立大合格132%、MARCHに關しても前年比137%と大幅に実績を伸ばしている。今年度は、水海道第一中学校の1期生の卒業の年でもあり、公立中出身者の活躍も実績に寄与したのではないかと推察される。

10月に入ろうとしています。例年10月は、中間試験などの定期試験と学校の実力模試・塾での新学研テストと試験が約2週間おきに続く、テスト月間となっています。ですから、試験の前の準備がとても大切になってきます。対策としては、試験範囲が出される前におおよその試験に出題されそうな単元を復習しておき、早めに弱点の克服をしましませう。

現在、毎週土曜日に中2生対象に中間理社対策を先取して、中間試験に向けて早めの対策をしよう。

また、中間試験の範囲がでた後は、完璧になるまで繰り返し演習していきます。早く試験対策を開始することによって、時間的な余裕もでき、精神的にも負担が少なく、精神的にもわがやにも「先んずれば人を制す」（何事も人より先にやれば、有利な立場に立つことができる）とある通り、先々のことを考える行動に移すことが重要ですが、授業代替が期末試験前にされる予定です。よろしくお願いたします。

中間試験が終わると、今

【問題1】 500ml が入るカップAと300ml が入るカップBの2つを利用して400ml を作りなさい。

【問題2】 500ml が入るカップAと350ml が入るカップBの2つを利用して400ml を作りなさい。

※答えは、ウラ面にかいてあります。

